

(様式2)

令和4年度学校関係者評価報告書

愛媛県立大洲農業高等学校
学校番号 31

評価実施日		令和5年2月20日(月)	
委 員	氏名	所属等	備考
	青井 斗志男 宇都宮 幹人 上田 弘 中野 八千代 丸井 幸造 竹本 親由 竹本 修二 上杉 茂 西村 幸治 福岡 ゆみ	学校評議員 (JAたいき・総合企画室長) 学校評議員 (老人保健施設フレンド事務長) 学校評議員 (大洲隣保館 館長) 学校評議員 (大洲市立東大洲こども園 園長) 学校評議員 (愛媛県農業指導士会 副会長) 大洲市立喜多小学校 校長 大洲市立大洲北中学校 校長 肱北公民館 館長 大洲農業高等学校 PTA会長 大洲農業高等学校 PTA副会長	団体職員 会社職員 公務員

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校経営について</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の中、感染対策に十分配慮され、できる限りイベント等に参加されたとのこと。大変だったと思うが、生徒さんや地域のために良かったと思う。・地元の自治会に活動を紹介する方法もある。この項目の生徒のアンケートがないので取り入れたらどうか。・コロナ禍であったが、工夫されて経営されているのが資料でよくわかった。・各種公開講座や地域イベントの参加者等、広報などを通じて楽しく拝見している。学校統廃合の対象となり急なことで驚いているが、反対運動や南予地域で唯一の農業高校を残すため、柑橘が学習できる学科の新設等、皆が大農存続のために考えて動かれていることに感謝したい。・コロナ禍の下、農業祭などの保護者・地域に公開する行事など、感染対策を工夫しながら実施できていたのではないと思う。地域に開かれた学校・地域とともにある学校の推進が図れていた。・ウィズコロナの考えの下、各種公開講座や地域イベントに参加し、地域とともにある学校を目指してよく努力できている。・開かれた学校として地域との共存で貢献し、良い取り組みをされている。・3年間学校生活を見てきた。子どもたちの要望、保護者からの意見(トイレの改修等)を聞き取ってもらい助かった。	<ul style="list-style-type: none">・地域と連携した活動や学校を広く開放する事業が今年度も新型コロナウイルス感染症のため、十分に行うことができなかった。しかし、そのような中においても感染症対策を行うことによって、昨年度よりも実施できるものが増えた。特に農業祭は3年ぶりに日曜日1日開催で実施することができた。感染症拡大防止の観点からバザーは実施しなかったが、各種体験教室を行うなど新しい試みを行い好評であった。次年度は、感染症5類移行を見据えて、その対策を徹底してより地域と連携した活動や学校開放事業を実施して、地域にあってよかったと誰からも思われる学校づくりを行っていくことが必要である。・ホームページへの記事のアップが昨年度に比べて向上したが後半はやや停滞した。ホームページデザインの刷新や教職員各自が月に1回はホームページに記事を掲載するなど、学校の魅力発信を継続して行う。・定期刊行物の近隣の地域への回覧・配布について地域の自治会等に連絡を行い、可能かどうか検討していく。・県立学校振興計画についてはその進捗状況に応じて生徒、保護者、関連機関等に適切な情報発信を行い、地域農業及び産業発展に寄与する人材育成に努める。
<p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">・基礎学力の定着には粘り強く努力して欲しい。生徒ができた、わかりだした、わかったと思う喜びを与えることが大切である。・ICTの導入、スキルアップの研修会(職員)をさ	<ul style="list-style-type: none">・習熟度別クラス編成や定期考査前の補習などを実施することで、個にあった学力の定着を図っているところである。昨年度に比べ学期末の欠点者数が減少しており成果が出ている。

<p>れているのがよくわかった。習熟度別クラス編成により、学力の定着に取り組んでおられるのがよくわかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒1人1台端末を使って授業を行って成果が上がっているようなので、良いことと思われる。授業への具体的な活用方法を知りたい。 ・コロナの感染拡大が続く中、「安易な欠席・遅刻をさせず～」という目標を立てて指導されたり、ICT機器の活用を進めて授業改善に取り組まれたりしたのは評価できると思う。 ・ICT機器を有効に活用し、生徒の興味・関心が高まっている。 ・漢字・計算の定着に力を入れていることは良いことだと思う。更に文章の読み取りや表現力の育成にもつなげていく工夫も大切だと思う。学習向上のためには、家庭学習は重要である。限られた時間での効果的な学習の仕方、1人1人に応じた学習等様々な工夫を行い、成果を上げて欲しい。 ・ICT機器の活用は今後、子供達にとって社会に出たとき、必ず必要になるツールである。今後とも強化事項としてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用のための教職員のスキルアップについては今後も引き続き校内研修、校外研修を含め行っていきたい。 ・昨年度に比べても今年度は端末を利用した授業が平時に行われるようになった。それに伴い生徒の授業に対する興味・関心が高まっている。授業の振り返りを行うために活用したり、提出物を端末を使って提出させたりするなど各教科で工夫した教科指導を来年度も引き続き行っていきたい。 ・安易な欠席や遅刻をさせない指導と合わせ、日頃の学習の積み重ねを大切にさせる指導を行っている。来年度もICT機器を生徒と先生が有効活用できるよう更なる授業改善に努めていきたい。 ・読み・書き・計算の基礎学力の定着のために、漢字テスト、数学計算テストを来年度もSHRで実施していきたい。家庭学習の習慣が十分でない生徒も多く、その定着に向けて取り組みたい。各教科で家庭学習の課題を出してもらおうお願いをしていきたい。併せて、一人一人に応じた的確な指導を行い、学習に対しての達成感や充実感が感じられるような指導を行ってきたい。
<p>3 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動制限等のある中で、精神的にもつらい思いをされている生徒さんにもきめ細やかな指導をされているのがわかった。 ・良く努力されていると感じている。 ・きもちのよい挨拶ができているのを私たちの現場実習に来られても感じる。 ・コロナの関係等により学校へ出向く機会も少なく直接生徒さんの様子を見ることはあまりないが、校外での様子を見ている限り特に問題はないように見える。 ・学校外で出会う大洲農高の生徒は、身だしなみや態度など全く問題を感じない。しっかり指導ができていると思われる。 ・挨拶のよくてできる生徒が多い。頭髪については、中高で連携していくことも大切だと感じる。 ・生徒指導については、様々な方面で注意を払っていて、指導が行き届いている。公共の場でSNSを使用した問題行動が話題となっているが、規範意識を身に付けさせるため、継続した指導をお願いしたい。 ・生徒の身だしなみ、校則指導等の教育は良くできているが、少しだけ固すぎる場所があるように思う。先生方や生徒（生徒会）、保護者で協力し合い協議できる場が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もさわやかなあいさつや正しい言葉遣いができるよう、登校指導や学校行事、普段の学校生活など、富士会や部活動とも協力しながら進めていく。 ・基本的生活習慣の確立は、学習意欲や体力・気力の向上に繋がる。今後も粘り強く、指導していく。 ・校外における生徒の行動については、地域の方々から多くの意見をいただき、感謝している。今後も継続して大農生としての自覚を持った行動について指導する。 ・校内の人間関係上のトラブルや不登校事案については、早期発見と他者理解に努力していく。また、お互いを尊重し、注意し合えるように意識を高めていく。 ・情報機器の使用マナーやSNSの利用について生徒の実態に応じた指導方法を確立していくと共に保護者への啓発にも努めたい。 ・ヘルメット着用はほとんどの生徒ができています。また、今年度は自転車の自損事故や接触事故は起こっていないが、交通安全に十分注意させるとともに、もしも事故に遭った場合には適切な対応ができるよう指導していく。
<p>4 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場実習の介護実習は1学期の間は実施できた。ボランティア等の参加減はどうしようもないことと思う。 ・生徒の喜びや充実感を育てる場（人間性と人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・県高校総体には目標である50名の参加が達成できた。また、陸上や卓球では全国大会に参加した生徒もいる。文化部も頑張っており、高文祭への参加は27名であった。生徒数減少の中、部活動に励む生徒は確実に

<p>の場) であると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動をよく頑張っているのがわかった。 ・広報等により部活動の様子を見させていただくが、各方面で(スポーツ・農業クラブ他)積極的な活動がされており、応援をしている。 ・生徒数が多い高校ではないが、どの部活動も熱心に取り組んでいたのではないと思う。 ・野球部を筆頭に、部活動に意欲的な生徒が多い。 	<p>に増加しており学校を元気付けてくれている。また、全校生徒の部活動加入率は、99%であった。今後も、粘り強く指導に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスも収まりつつあるので、積極的にボランティアに参加できる生徒を育てていく。 ・部活動の統廃合については、現状維持できるよう努力していく。しかしながら、今後は、生徒のニーズはもちろん、地域の実態に合わせた検討も必要である。 ・生徒会や農業クラブ、家庭クラブなど本校生徒の活躍できる場面はたくさんあるが、それぞれの場所で自信を付けたり、居場所づくりを行ったりして、様々な場面で生徒がよい方向に変容していく仕掛けを作っていく。
<p>5 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒さんの希望に沿った進路指導をされていると思う。就職決定率も高い。 ・就労後の定着率(1～2年間の)はどの程度なのか教えていただきたい。 ・保育士を目指す学生さんにどんどん園に遊びに来ていただきたいと思う。 ・就職進学ともに生徒の希望に近い形で決まっているようで良かった。 ・なるべく生徒や保護者の希望が叶うように、指導助言ができています。 ・就職希望者決定率 98%が素晴らしい結果である。また、就職先も県内がほとんどということで、やはり地域に根付いた高校だと思ふ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、生徒一人一人に寄り添った丁寧な進路指導ができるよう、学校全体で取り組みたい。 ・昨年度卒業生は39人中32人が定着、定着率82%、一昨年度卒業生は31人中24人が定着、定着率77%となっている。地元企業に就職した生徒は、企業理解が十分にできていることもあり離職率が低い。今後は、早い段階から、自己理解、企業理解を深めさせ、就職先を決定するよう指導していきたい。 ・授業、実習、部活動等様々な場面で、こども園を始めとした地域の機関との連携を図り、生徒が実践的に学びを深められるよう努めたい。 ・今年度は学校幹旋就職者39人中、22人が管内、16人が県内で就業する予定である。今後も地元企業との連携を図り、地域に貢献する人材を育てられるよう努めたい。
<p>6 農業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト活動では、いつも全国レベルの内容ですばらしい。農業祭に参加できなかったが、コロナ禍でも盛況で良かったと思う。 ・農業祭や芋ほりなどで交流させていただき、感謝している。 ・資格については年々難しくなるものが多いので、取れる資格なら頑張って取得できるようにしてほしいと思う。農業祭については、感染対策をしながらの実施で大変だったと思う。早く通常になるとよい。 ・久しぶりに農業祭に参加し、多くの地域から喜びの声が聞こえてきた。 ・プロジェクト発表会などで、良い成績を収めているようで頑張っている様子がよく伝わってくる。 ・特色ある教育を推進され成果を上げられ素晴らしいと思う。 ・大農によるプロジェクト活動は、私たち農家の目から見ても素晴らしい内容である。地域とともに歩んでいる学校である。私もお声がかかれば協力したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト活動では、地域農業の課題と学習段階や発展的な取組を通して、地域農業や関連産業などに貢献できるよう、継続した活動を推進する。 ・農業祭やうきうきわくわくスクール、大農開放講座など、学習成果を地域社会に公開することで、生徒の教育効果を高めるとともに、地域に必要とされる学校づくりに努める。 ・学習段階に応じた資格取得を推進することで、専門科目の知識・理解の定着を深めるとともに、進路実現に向けてのステップアップを図る。

<p>7 環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情を知り活動に生かすとよい。 ・訪れるたび季節の花が咲き、美しい環境作りをされていると思う。 ・いつもきれいに清掃ができており、問題ないと思う。 ・農業には快適な環境づくりが大切であるため、集中した取り組みに期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肱川の環境調査や清掃活動、河川敷への花の播種などを通して地域環境への理解を深め、地域環境の維持や保全に取り組む態度を養う。 ・校内の清掃についてはまだまだ行き届いていない部分があるため、開始5分前の清掃場所への移動を徹底していきたい。今後も決められた時間を有効に使い、身近なことから始めて主体的に環境の改善に努力できる生徒の育成に努めたい。
<p>8 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良く努力されていると感心している。 ・人権集会等人権に取り組む姿勢がすばらしい。人権教育は教育の基本であると思うので今後も持続されていかれることを願う。 ・人権だよりを通じての知識しかないが、現在の活動を充実させて欲しい。 ・来年度、本校（喜多小学校）が、文科省「人権教育指定校事業」に愛媛県から推薦されており、機会があれば異校種間交流なども充実できればと思っている。 ・いじめに関して早期に発見し対応できており、大変よい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する行事は今後も継続していく。また、関係機関との連携も図っていきたい。 ・1年間の人権委員会の集大成である人権教育集会を通して、生徒の人権意識の高揚を図っていきたい。 ・毎年第1回の当委員会にて「人権委員会活動報告集」を配布しているので、「人権だより」とともに見ていただき、人権委員会の活動について御理解いただきたい。 ・異校種間の連携については、来年度実施を検討していきたい。 ・今後とも「いじめに関するアンケート」の集計・分析・対応を迅速に行い、いじめの早期発見・早期解決を図っていく。
<p>9 情報教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での必要に応じてICT化が急に進んだと思われるが、情報リテラシーの教育も大切にしていけることが必要だと思う。 ・生徒1人1台端末の導入や、ホームページ、SNSなどで知識をあげていくと良いことばかりでなく、逆のこともあるので、情報モラルの育成を充分に行っていただきたい。 ・ICTに関する研修会を経て、教職員の技能の向上がみられ、すばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の研修機会を増やし、外部の研修会への積極的な参加を促していきたい。 ・一人一台端末については使用機会も増え、生徒たちも当然のように使えるようになっている。ただ、不適切な発言や動画をSNSにあげたりすることが無いようにスマートフォンの利用も含めて、具体的な事例を参考に、利用上のモラルの教育にも力を入れていきたい。現行では年1回の外部講師による講演会だけだったが、情報Iの授業でも積極的にモラル教育を取り入れていく。
<p>10 図書指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報教育との連携を行っていただきたい。 ・本離れが進んでいるが、学習には本好きであることが大切だと思うので、朝の読書等を通して読書週間を大切にしていけることが大事だと思う。 ・生徒のアンケート結果から読書離れ、図書館離れがみられるのが残念。魅力ある図書館となる工夫が必要ではないかと感じる。 ・読書は、読解力や心を豊かにしてくれるので、読書の習慣化に継続して力を入れてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間を確保し、生徒が毎日読書に親しむ機会を作ることを徹底していきたい。教室に置いている本や、図書館の本を朝読書に活用する生徒を増やしていく。 ・図書の出張貸出や読書感想文発表会などの充実により、魅力ある図書館を目指していきたい。 ・国語科や、食品デザイン科の授業等で図書館を活用しているが、生徒に気軽に図書館を利用してもらうために、各教科との連携を図っていく。他教科でも図書館を活用してもらい、生徒にとってより身近な施設だと感じてもらいたい。
<p>11 学校保健・学校安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、対策・対応に苦心されたこと、本当に 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医や学校薬剤師の先生に助言していただきな

<p>大変だったと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりを毎月発行されているとのこと、健康への関心を深めるのに役だっていると思う。保健だよりはとても読みやすい。 ・工夫された保健だよりは生徒にとっても役に立つ内容である。 	<p>がら、今後も感染症対策を継続していきたい。各検診や行事についても、対策を講じながら安全に実施したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりには、生徒保健委員で選んだテーマや、時期に合わせた情報について掲載した。生徒が心身の健康に対する関心を高められるように、内容を充実させていきたい。
<p>12 学校行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に教育を進めていくために必要な修繕は早急にすすめ安心安全な教育環境を整えることが大切だと思う。 ・トイレの洋式化で食品デザイン科教棟女子トイレ洋式化トイレ工事は完了とあるが、他の場所の女子トイレ、男子トイレはどうなのか。 ・厳しい財政の中、教育活動に支障が出ないように努力されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内設置トイレのうち 37.8%、男女別では男子トイレ 22.2%、女子トイレ 28.7%が洋式トイレへ改修済となっている。今後も学習・生活の場として、適切な環境整備に努めたい。